

2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名	タケダ機械株式会社	上場取引所	東
コード番号	6150	URL	https://www.takeda-mc.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 竹田 雄一	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部長	(氏名) 鈴木 修平	(TEL) (0761) 58-8231
四半期報告書提出予定日	2023年4月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績 (2022年6月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	2,959	△1.6	166	△15.4	193	△13.1	161	13.4
2022年5月期第3四半期	3,007	27.4	196	539.5	222	139.5	142	127.7

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 171百万円 (13.7%) 2022年5月期第3四半期 150百万円 (126.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	175.31	—
2022年5月期第3四半期	154.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	6,693	4,443	66.4
2022年5月期	6,739	4,318	64.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 4,443百万円 2022年5月期 4,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年5月期	—	0.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年5月期の連結業績予想 (2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,650	4.6	370	△0.9	400	△2.2	300	15.0	326.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期3Q	1,020,000株	2022年5月期	1,020,000株
2023年5月期3Q	100,467株	2022年5月期	100,393株
2023年5月期3Q	919,584株	2022年5月期3Q	919,646株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の収縮から再開に向けて段階的な回復基調で推移しているものの、ウクライナ問題の地政学的リスクの影響、半導体部品の不足による生産活動の停滞、多岐にわたる急速な物価の上昇、グローバルな金融政策の引き締め、外国為替相場の急速な変動など景気に対する様々な悪影響が顕在化しており、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に取り組んでおりますが、鋼材価格の高騰による収益の縮小や製造部品の不足から製造納期の長期化が常態化するなど、予断を許さない事業環境が継続しております。これらに対して収益を改善しようと、製造部品の先行手配や内製化、在庫の適正化、販売価格の見直しなどを展開しておりますが、回復までに一定の時間を要しております。

このほか、当社は太陽光発電設備の導入(2022年10月28日稼働)を決定し、社会が求める自然環境への対応と企業活動の共存を図り、持続可能な成長を可能とする企業活動にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は2,959百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は166百万円(前年同期比15.4%減)、経常利益は193百万円(前年同期比13.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は1,882百万円(前年同期比1.8%減)、丸鋸切断機は124百万円(前年同期比43.6%減)、金型は307百万円(前年同期比1.6%増)、受託事業・その他は177百万円(前年同期比44.6%増)、部品は391百万円(前年同期比3.6%増)、サービスは76百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

なお、当社グループの事業は金属加工機械事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しております。

これは、主に棚卸資産が616百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が499百万円、現金及び預金が266百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は2,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少しております。

これは、主に支払手形及び買掛金が128百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が79百万円増加したこと、短期借入金が200百万円、未払法人税等が138百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円増加しております。

これは、利益剰余金が115百万円、その他有価証券評価差額金が10百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期通期の連結業績予想は、2022年7月14日付「2022年5月期 決算短信」にて公表しました業績予想を修正しております。詳細は、本日(2023年4月14日)発表の「2023年5月期通期の業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,692	1,069,391
受取手形及び売掛金	1,075,910	576,633
製品	1,012,041	1,388,517
仕掛品	421,557	595,472
原材料	418,347	484,276
その他	16,408	115,400
流動資産合計	4,279,958	4,229,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	528,367	508,652
土地	967,629	967,629
その他(純額)	468,517	505,943
有形固定資産合計	1,964,514	1,982,224
無形固定資産	107,649	80,216
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,580	33,140
その他	317,773	371,362
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	387,214	401,362
固定資産合計	2,459,377	2,463,803
資産合計	6,739,336	6,693,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381,714	509,771
短期借入金	400,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	398,688	389,750
未払法人税等	150,108	11,602
賞与引当金	119,514	70,652
役員賞与引当金	21,400	10,500
製品保証引当金	12,280	12,913
株主優待引当金	—	9,797
その他	285,635	234,089
流動負債合計	1,769,341	1,449,076
固定負債		
長期借入金	346,335	434,288
役員退職慰労引当金	74,383	81,942
その他	230,754	284,436
固定負債合計	651,472	800,666
負債合計	2,420,813	2,249,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	44,103	44,103
利益剰余金	2,570,095	2,685,331
自己株式	△169,024	△169,199
株主資本合計	4,319,257	4,434,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	9,433
その他の包括利益累計額合計	△734	9,433
純資産合計	4,318,523	4,443,753
負債純資産合計	6,739,336	6,693,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	3,007,638	2,959,638
売上原価	2,146,907	2,077,134
売上総利益	860,731	882,503
販売費及び一般管理費	663,735	715,908
営業利益	196,996	166,595
営業外収益		
受取利息	25	12
受取配当金	3,074	3,368
仕入割引	12,847	16,449
その他	29,585	20,123
営業外収益合計	45,533	39,954
営業外費用		
支払利息	9,712	9,423
保険解約損	9,377	—
その他	723	3,608
営業外費用合計	19,814	13,032
経常利益	222,715	193,518
特別利益		
固定資産売却益	69	426
投資有価証券売却益	—	1,870
補助金収入	—	49,333
特別利益合計	69	51,630
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	424	837
特別損失合計	424	843
税金等調整前四半期純利益	222,360	244,304
法人税、住民税及び事業税	72,373	48,054
法人税等調整額	7,789	35,033
法人税等合計	80,163	83,088
四半期純利益	142,197	161,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,197	161,216

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	142,197	161,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,570	10,168
その他の包括利益合計	8,570	10,168
四半期包括利益	150,767	171,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,767	171,384

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した注記事項「(重要な会計上の見積り)、繰延税金資産の回収可能性」中の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りの内容について、重要な変更はありません。